

幸町地区総合整備について

1 背景と目的

幸町地区（※）には、呉市立美術館（以下「美術館」といいます。）や呉市入船山記念館（以下「入船山記念館」といいます。）、青山クラブ・桜松館といった施設があり、市民や観光客が文化・芸術に親しむことができる地区となっています。しかし、各施設は老朽化の進行や活用にあたっての大規模な改修工事の必要性などの課題を抱えています。

このため、幸町地区全体のコンセプトを整理するとともに、各施設の機能を向上させ、それらを有機的に結び付けることで、幸町地区が市民や観光客が集いにぎわう文化・芸術拠点となるよう、幸町地区総合整備について検討を進めていきます。（※）美術館，入船山記念館，青山クラブ・桜松館が立地する地区

2 施設概要・位置図

施設名	名称	建築年	延べ面積
美術館	①本館（展示室）	昭和 57 年	2,790.9 m ²
	②別館（収蔵庫）	平成 5 年	781.7 m ²
入船山記念館	③長官官舎	明治 38 年	527.1 m ²
	④歴史民俗資料館 （近世文書館）	昭和 61 年	484.8 m ²
	⑤郷土館	昭和 54 年	358.4 m ²
	⑥2号館（収蔵庫）	昭和 42 年	76.3 m ²
⑦青山クラブ	—	昭和 11 年	10,927.2 m ²
⑧桜松館	—	昭和 4 年	1,963.7 m ²

※地区面積：22,759 m²（呉市公有財産台帳による）



3 各施設の現状と整備の方向性

(1) 美術館

昭和57年に開館した美術館本館は、施設・設備が老朽化しており、令和2年度に実施した耐震診断では、本館の一部が耐震基準を満たしていないことが判明しています。また、「呉市公共施設に関する個別施設計画」では、令和14年度に建替えという方針が示されているため、建替えを検討する必要があります。平成5年に開館した美術館別館は、美術品の収蔵機能とカフェ機能を有していますが、本館とは道路を隔てて立地していることから、運用上の課題があります。

美術館については、収蔵・展示スペースが不足していることから、本館と別館の機能を合わせ持った新たな施設の整備について検討します。

(2) 入船山記念館

旧呉鎮守府司令長官官舎を中心に、昭和42年に開館した入船山記念館は、平成4年から3年掛けて、長官官舎の解体と復元修理を実施しましたが、各施設とも、建築・整備をしてから長期間が経過し、老朽化が進んでいます。また、資料の収蔵・展示機能が整っておらず、資料が分散しているなどの課題があります。

入船山記念館については、施設の再整備や新たな活用について検討します。

(3) 青山クラブ・桜松館

平成30年度に国から取得した青山クラブ・桜松館は、これまで耐震診断やニーズ調査等を行いながら、活用方法についての検討を進めてきました。その過程において、呉市海事歴史科学館（以下「大和ミュージアム」といいます。）のリニューアルに際して、大和ミュージアムの収蔵展示機能の一部を分担させることについて検討しましたが、令和3年度の大和ミュージアムリニューアル基本計画策定委員会において、資料は分散しない方がよいという意見をいただきました。そのため、改めて活用方針の策定に向けた検討を進める必要があります。

青山クラブ・桜松館については、美術館の建替えや入船山記念館の再整備などを踏まえた上で、文化・芸術拠点としての幸町地区に立地する施設として、その位置付けを整理し、活用方法についての検討を進めます。

青山クラブについては、美術館や入船山記念館の機能の全部又は一部の集約、文学館やカフェなど新たな機能の追加など、文化・芸術の拠点施設等として活用することを検討します。

桜松館については、海上自衛隊呉音楽隊が使用していた経緯やホールを有することを踏まえ、音楽活動の場など、多くの人々の交流が促進される施設として活用することを検討します。

4 幸町地区総合整備の検討体制

建築，都市計画，芸術・文化等の学識経験者や市民団体の代表者等で構成する（仮）幸町地区総合整備検討有識者会議を設置し，エリアデザインの取りまとめを行います。これを踏まえ，幸町地区総合整備方針を策定します。

5 スケジュール案（検討内容など）

令和4年度	令和5年度	令和6年度
	<p>○地区全体のコンセプトの検討</p> <p>○美術館，入船山記念館，青山クラブ・桜松館の在り方や機能向上に向けた検討</p>	<p>○エリアデザインの取りまとめ</p> <p>○幸町地区総合整備方針の策定</p>